福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和８年第３７週（令和８年９月７日～令和８年９月１３日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

・麻しんの報告が 5 件ありました。麻しんは、麻しんウイルスによる感染症で、その感染力は非常に強く、空気感染、飛まつ感染、接触感染により感染拡大します。感染すると、約 10 日後に発熱や咳、鼻水、目の充血などの風邪のような症状が現れます。2～3 日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。発熱、咳、発しん、鼻水、目の充血など麻しんに特徴的な症状が現れた場合は、医療機関に電話で連絡し、指示に従って受診してください。麻しんの予防には、ワクチン接種が有効です。対象年齢の方は、定期予防接種を受けましょう。

・9 月 24 日～30 日は、結核・呼吸器感染症予防週間及び非結核性抗酸菌症啓発週間です。結核は、結核菌という細菌による感染症です。結核の症状（咳や発熱等の風邪に似た症状）は、特徴的なものがないため、特に高齢者では気づかないうちに進行することがあります。咳やたんが 2 週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	564	257	10,129
腸管出血性大腸菌感染症	6	159	137	2,910
Ａ型肝炎	1	6	10	278
日本紅斑熱	2	7	16	354
レジオネラ症	3	48	53	1,741
急性脳炎	1	25	11	349
梅毒	15	509	162	7,934
百日咳	2	206	46	4,273
麻しん	5	10	2	552

■ 定点把握疾患報告数

：警報　：注意報

病名	福岡県			全国(前週)	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	106	0.87	0.92	7,777	2.08
インフルエンザ	541	4.43	1.67	12,299	3.29
急性呼吸器感染症	6,563	53.80	1.12	179,995	48.41
ＲＳウイルス感染症	165	2.36	1.47	2,289	1.02
咽頭結膜熱	60	0.86	1.02	580	0.26
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	170	2.43	1.22	3,094	1.38
感染性胃腸炎	430	6.14	1.03	8,679	3.86
水痘	22	0.31	2.00	476	0.21
手足口病	55	0.79	0.92	3,882	1.73
伝染性紅斑	1	0.01	0.33	70	0.03
突発性発しん	33	0.47	0.94	698	0.31
ヘルパンギーナ	22	0.31	0.88	2,159	0.96
流行性耳下腺炎	1	0.01	0.33	72	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	－	10	0.01
流行性角結膜炎	125	4.81	1.16	448	0.65
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	13	0.03
無菌性髄膜炎	0	0.00	－	22	0.05
マイコプラズマ肺炎	4	0.27	1.33	193	0.40
クラミジア肺炎	0	0.00	－	6	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	－	3	0.01